

目次と学習カリキュラム確認表

	単元	ページ	習熟度		
			文法理解	実践特訓	復習特訓
1	be動詞・一般動詞	2			
2	代名詞・名詞・冠詞	4			
3	三単元	6			
4	過去形	7			
5	進行形	8			
6	未来形	9			
7	5文型	10			
8	疑問詞の疑問文	12			
9	命令形	16			
10	接続詞	17			
11	助動詞	19			
12	比較	23			
13	形容詞・副詞	25			
14	受動態	26			
15	現在完了	27			
16	動名詞	29			
17	不定詞	30			
18	分詞	32			
19	間接疑問文	33			
20	関係代名詞	34			
21	前置詞	35			

(1) be動詞と一般動詞の違い

①be動詞

肯定文において、S is (are) C. → 「SはCです」というような使い方をするものをbe動詞という。

Sにくるものを主語という (Subjectを省略して、Sで表すことが多い)

Cにくるものを補語という (Complementを省略して、Cで表すことが多い)

(例) **This is my country.** 「これは私の国です」

②一般動詞

文において、be動詞以外の動詞を一般動詞という。

(例) **I play the guitar every day.** 「私は毎日ギターを弾きます。」

(2) be動詞

①共通ルール

(A) Sが「I」の場合

be動詞は「am」

(B) Sが「You」、「名詞の複数形」の場合

be動詞は「are」

(C) Sが(A)、(B)以外の場合

be動詞は「is」

②肯定文

S + be動詞 + ~. 「Sは～です」

短縮形は「I am」⇒「I'm」、「You are」⇒「You're」、「That is」⇒「That's」、

「It is」⇒「It's」、「He is」⇒「He's」、「She is」⇒「She's」、「we are」⇒「we're」

(例) **You are my friend.** 「あなたは私の友達です」

③否定文

S + be動詞 + not + ~. 「Sは～ではありません」

短縮形は「is」⇒「isn't」、「are」⇒「aren't」

(例) **She's not a teacher.** 「彼女は先生ではありません」

④疑問文

be動詞 + S + ~ ? 「Sは～ですか？」

応答方法は

Yes, S is(am / are). / No, S isn't(am not / aren't).

「you」⇒「I」(応えるときは自分になるので)、「that」⇒「it」、「人の名前」⇒「he / she」

(例) **Are you from a big country?** 「あなたは大きい国の出身ですか？」

⇒**Yes, I am. / No, I'm not.** 「はい、そうです」/ 「いいえ、違います」

(3) 一般動詞

①肯定文

S + 一般動詞 + ~. 「Sは~する」

(例) You speak English. 「あなたは英語を話します」

②否定文

S + do not + 一般動詞 + ~. 「Sは~しません」

短縮形は「do not」⇒「don't」

(例) You don't go to school by bus. 「あなたはバスで学校に行きません」

③疑問文

Do + S + 一般動詞 + ~ ? 「Sは~しますか？」

応答方法は

Yes, I do. / No, I do not(don't).

「you」⇒「I」 (応えるときは自分になるので)

(例) Do you know an interesting book? 「あなたは面白い本を知っていますか？」

⇒Yes, I do. / No, I don't. 「はい、知っています」 / 「いいえ、知りません」

(1) 代名詞

①代名詞とは

代名詞とは名詞の代わりに用いられる語のこと

②主格

代名詞が主語 (S) の位置にくるときの形

③所有格

代名詞が「〇〇の～」というように所有を表すときに、名詞の前にくるときの形

④目的格

代名詞が目的語 (O) の位置にくるときの形

⑤所有代名詞

所有格の別形として、「～のもの」の意味を表し、後に名詞はおかず、単独で用いられる

	単数							複数					その他 名詞
	1人称	2人称	3人称			1人称	2人称	3人称					
	わたし	あなた	彼	彼女	これ	あれ	それ	わたしたち	あなたたち	彼ら	これら	あれら	
主格 ～は	I	you	he	she	this	that	it	we	you	they	these	those	Judy
所有格 ～の	my	your	his	her	this	that	its	our	your	their	these	those	Judy's
目的格 ～を、～が	me	you	him	her	this	that	it	us	you	them	these	those	Judy
所有代名詞 ～のもの	mine	yours	his	hers	-	-	-	ours	yours	theirs	-	-	Judy's

(2) 名詞

①可算名詞と不可算名詞

名詞には可算名詞 (数えられる名詞) と不可算名詞 (数えられない名詞) がある

②可算名詞の複数形

可算名詞が2つ以上ある場合「e/es」を可算名詞の後ろにつける

(A) 規則変化

- ・名詞 + s : たいていの名詞 pen → pens
- ・名詞 + es : s, sh, ch, o, x で終わる名詞 watch → watches box → boxes
- ・名詞(語尾の y を i に変えて) + es : 子音字 + y で終わる名詞 city → cities
- ・名詞(語尾の f, fe を v に変えて) + es : f, fe で終わる名詞 leaf → leaves knife → knives

(B) 不規則変化

- man → men 「男性」 sheep → sheep 「羊」 Japanese → Japanese 「日本人」
 - woman → women 「女性」 deer → deer 「鹿」 Chinese → Chinese 「中国人」
 - child → children 「子供」 fish → fish 「魚」 foot → feet 「足」 など…
- ※変化の仕方はそれぞれの単語で異なる

③不計算名詞 可算名詞のように変化せず、a, an もつけない

(A) 人名・国名・地名など : Tom, Japan, Yamaguchi, Mine

(B) 一定の形がないもの(液体など) : water, snow, money, news

(C) 具体的な形がないもの : math, tennis, music, summer, time, homework

④物質名詞の数量の表し方

容器を用いて表す	物質の形を用いて表す	量の単位を用いて表す
a cup of A 「カップ1杯のA」	a piece of A 「1かけらのA」	a pound of A 「1ポンドのA」
a glass of A 「コップ1杯のA」	a sheet of A 「1枚のA」	a meter of A 「1mのA」
a bottle of A 「ボトル1本のA」	a cake of A 「1個のA」 ※固形物	
a spoonful of A 「スプーン1杯のA」	a slice of A 「1切れのA」	

one of A: 「Aのひとつ」、some of A: 「Aのいくつか」、most of A: 「Aの大部分」

a kind of A: 「Aの一種」、a pair of A: 「一対のA」

(3) 冠詞

①冠詞とは

「a / an」、「the」など名詞の前に用いられる品詞のこと

②a / anの使い方

加算名詞が単数のとき、「a / an」を名詞の前につける : a peach

※可算名詞が母音ではじまる場合、「an」となる : an apple

※所有格の後ろには「a / an」を使わない : This is my ~~an~~ pen. (これは私のペンです。)

③theの使い方

(A) 慣習的な表現につける

- ・楽器の前 : play the guitar
- ・天体、方位などの前 : the earth, the sun, the west
- ・序数、時間帯 : the first time, in the morning
- ・海洋、河川など : the Pacific (Ocean), the Shinano (River)

(B) 特定のものに限定できるもの

前に出てきた名詞や、会話の相手にもどれか特定ができる名詞の前につける

④冠詞をつけてはいけないもの

- ・唯一のもの (人名、地名など)
- ・概念で考えるもの (homeworkなど)
- ・スポーツ名

(4) 補足

①繰り返しの表現

(例) That book is my book. (×) 「あの本は私の本です」

英語では、1度出た単語の繰り返し使用をなるべく避ける。

この文では book が繰り返されているので、下記のようにする

(例) That book is mine. (○) 「あの本は私の本です」

②名詞 + of + 所有代名詞

「a, the」の冠詞や、「this, that」などの指示代名詞は所有格と一緒に使えない。

(例) I lend the my book. (×) 「私はその私の本を貸します」

⇒ I lend the book of mine. (○) 「私がその私の本を貸します」

③冠詞 + 形容詞 + 名詞

(例) Are you new a teacher? (×) 「あなたは新しい先生ですか？」

⇒ Are you a new teacher? (○) 「あなたは新しい先生ですか？」

三単現

①三単現とは

三人称・単数・現在のこと

一人称：私 二人称：あなた 三人称：一人称、二人称でないもの

単数：複数でないもの

現在：過去や未来のことでないもの

主語が三単現である時、一般動詞は三単現形となる。

②動詞の三単現変化

(A) 肯定文

動詞の原形⇒動詞の三単現形 (動詞に「s/es」をつける)

※be動詞のときは変化しない

(例) **She lives in Canada.** 「彼女はカナダに住んでいます」

(B) 疑問文

do → does

疑問文の場合、応答のときも、「do」→「does」にする(「does not」の短縮形は「doesn't」)

※be動詞のときは変化しない

(例) **Does Mike play the guitar?** 「マイクはギターを弾きますか？」

⇒**Yes, he does. / No, he doesn't.** 「はい、弾きます」/ 「いいえ、弾きません」

(C) 否定文

do not → does not

※be動詞のときは変化しない

(例) **He doesn't go to school.** 「彼は学校に行きません」

(D) 動詞の三単現変化規則

<規則変化> ※名詞とほぼ同じルール

・原形 + s

: たいていの動詞

play→plays, like→likes

・原形 + es

: s, sh, ch, o, x で終わる動詞

go→goes, wash→washes, catch→catches

・原形(語尾の y を i に変えて) + es

: 子音字 + y で終わる動詞

study→studies, cry→cries, fly→flies, try→tries

<不規則変化>

have → has

過去形

①過去形とは

過去のことを表す表現

②be動詞の過去形

be動詞を変化させることで過去形となる

am / is → was

are → were

短縮形は「was not」→「wasn't」、 「were not」→「weren't」

応答のときも、過去形変化をする

(例) **Was she at school during last night ?**

「彼女は昨日の夜の間中、学校にいましたか？」

⇒ **Yes, she was. / No, she wasn't.**

「はい、いました」 / 「いいえ、いませんでした」

③一般動詞の過去形

(A) 肯定文の場合

動詞の原形⇒動詞の過去形

(例) **We walked across the bridge yesterday.**

「昨日、わたしたちはその橋を歩いて渡りました」

<規則動詞>

- ・原形 + ed : たいていの動詞 play→played
- ・原形 + d : 語尾がeで終わる動詞 like→liked
- ・原形(語尾の y を i に変えて) + ed : 子音字 + y で終わる動詞 study→studied
- ・原形(語尾の1字を重ねて) + ed : 短母音 + 子音字で終わる動詞 stop→stopped

<不規則動詞>

- ・have → had ・go → went ・take → took ・buy → bought
- ・see → saw ・come → came ・find → found ・say → said

(B) 疑問文

do → did

応答のときも、「do」→「did」 / 「do not」→「did not」にする

(「did not」の短縮形は「didn't」)

※疑問文の動詞は必ず原形とする

(例) **Did you run after me in the snow ?**

「雪の中、あなたは私を追いかけましたか？」

⇒ **Yes, I did. / No, I didn't.**

「はい、追いかけました」 / 「いいえ、追いかけませんでした」

(C) 否定文

do not → did not

※否定文の動詞は必ず原形とする

(例) **She didn't like him last summer, but she likes now.**

「この前の夏、彼女は彼が好きではなかった、でも今は好きだ」

(1) 進行形

①進行形とは

「～している」という進行を表す文

※状態・感覚・心理を表す動詞は進行形にしない have, hear, see, know, wantなど

②進行形

一般動詞 ⇒ be動詞 + ~ing

※一般動詞でなく、be動詞が用いられる文章は進行形にならない

※疑問文・否定文はbe動詞の疑問文・否定文をつくる方法と同じである

(例-肯定文) **She is running around in the snow.**

「彼女は雪の中を走りまわっている」

(例-否定文) **He and I are not reading the book.**

「彼と私はその本を読んでいません（読んでいる最中ではありません）」

(例-疑問文) **Are you watching a softball game on TV?**

「あなたはテレビでソフトボールの試合を見ていますか？（見ている最中ですか）」

③動詞の進行形変化

(A) 基本変化

動詞 + ing

(例) **play ⇒ playing** 「～をする / ～を演奏する」

(B) 語尾が「e」

動詞 (eをとって) + ing

(例) **come ⇒ coming** 「くる」

(C) 語尾が短母音+子音字

動詞 (最後の1文字重ねて) + ing

(例) **run ⇒ running** 「走る / 逃げる」

(2) 過去進行形

①過去進行形とは

「～していた」という過去の進行を表す文

②過去進行形

過去形のbe動詞 ⇒ was / were

※疑問文・否定文はbe動詞の疑問文・否定文をつくる方法と同じである

(例-肯定文) **I was reading a book about baseball.**

「私は野球について本を読んでいた」

(例-否定文) **She wasn't waiting him on the boat.**

「彼女はあのボート（の上）で彼を待っていませんでした」

(例-疑問文) **Were you cleaning your room for two hours?**

「あなたは2時間の間、あなたの部屋を掃除していましたか？」

未来形

①未来形とは

「～するつもりです（意思）」 / 「～する予定です（予定）」という未来を表す文

②未来形 (be going to)

be動詞 + going + to + 動詞の原型 ～

※一般動詞でなく、be動詞が用いられる文章は

「be動詞 + going + to + be + ～」 となる

※疑問文・否定文はbe動詞の疑問文・否定文と同じ考え方となる

(例-肯定文) **I'm going to visit Yamaguchi.**

「わたしは山口を訪れるつもりだ」

(例-否定文) **You are not going to leave tomorrow.**

「あなたは明日、出発する予定ではありません」

(例-疑問文) **Is he going to go fishing to the Fushino River ?**

「彼はふしの川へ魚釣りに行く予定ですか？」

③未来形 (will)

(A) 肯定文

S + will + 動詞の原型 ～

(例) **I'll visit Yamaguchi.**

「わたしは山口を訪れるつもりだ」

※短縮形は「I will」→「I'll」、 「you will」→「you'll」、 「he will」→「he'll」、
「she will」→「she'll」、 「we will」→「we'll」、 「it will」→「it'll」

(B) 否定文

S + will not + 動詞の原型 ～

※短縮形は「will not」→「won't」

(例) **You won't leave tomorrow.**

「あなたは明日、出発する予定ではありません」

(C) 疑問文

Will + S + 動詞の原型 ～ ?

応答方法は

Yes, S will. / No, S will not / won't.

(例) **Will he go fishing to the Fushino River ?**

「彼はふしの川へ魚釣りに行く予定ですか？」

⇒ **Yes, I will. / No, I won't.** 「はい、そうです」 / 「いいえ、違います」

(1) 5文型とは

英語は動詞により、5つの文型をとることができる

- [S] は主語 (subjectの頭文字)
- [V] は述語動詞 (verbの頭文字)
- [C] は補語 (complementの頭文字)
- [O] は目的語 (objectの頭文字)

(2) 5文型

①第I文型 S + V

主語 + 述語動詞 が基本構成である文のこと
長い文の場合は動詞につながる目的語などはなく、
前置詞や接続詞で構成される附属部分につながるだけの文型

(例) He sings well. 「彼は上手に歌う」
S V

They run fast. 「彼らは速く走る」
S V

there is / are の文 (特殊な第I文型)

There be A + 前置詞 + 場所 「Aが～にある」という存在を表す

(例) There are four seasons in Japan. }
Japan has four seasons. } 「日本には四季がある」
We have four seasons in Japan. } これらの書き換え問題は頻出

②第II文型 S + V + C

主語 = 補語という関係が成立する文のこと。
ほとんどbe動詞 で表わされるが、次のような動詞もある。
look～「～のように見える」、become～「～になる」、smell～「～のおいがる」、
taste～「～の味がする」、seem～「～に見える」、turn～「～になる」、feel～「～の感じがする」、
remain～「～のままである」、sound～「～に聞こえる」

(例) It is good. 「それは良い」
S V C

You look sad. 「あなたは悲しそうに見える」
S V C

③第III文型 S + V + O

動詞には目的語を持つ動詞 (他動詞) と目的語を取らない動詞 (自動詞) がある
したがって、第II文型のS+V+Cとなるのは自動詞である。
他動詞の場合、目的語をとり、第III文型となる。
(「SはOをVする」「SはOにVだ」「SはOがVである」と訳がなっているような動詞)

(例) I like this textbook. 「私はこの教科書が好きだ」
S V O

She studies English. 「彼女は英語を勉強する」
S V O

④第IV文型 S + V + O + O

目的語を2つとることができる他動詞の場合、この文型となる

(例) He showed me his passport. 「彼は彼のパスポートを私にみせた」
 $\begin{matrix} \text{S} & \text{V} & \text{O} & \text{O} \end{matrix}$

第IV文型の文は for や to を用いて書き換えが可能である

(A) to型

$\boxed{S + V + O_1 + O_2 \Rightarrow S + V + O_2 + to + O_1}$ ※O₁は人・生物、
O₂は物事であることが多い

give + O₁ + O₂ 「O₁にO₂を与える」、bring + O₁ + O₂ 「O₁にO₂を持ってくる」

show + O₁ + O₂ 「O₁にO₂をみせる」、hand + O₁ + O₂ 「O₁にO₂をわたす」

lend + O₁ + O₂ 「O₁にO₂を貸す」、send + O₁ + O₂ 「O₁にO₂を送る」

teach + O₁ + O₂ 「O₁にO₂を教える」、tell + O₁ + O₂ 「O₁にO₂を言う」

write + O₁ + O₂ 「O₁にO₂の手紙を書く」、promise + O₁ + O₂ 「O₁にO₂を約束する」など

(例) He gave you something. 「彼は君に何かをあげた」
 $\begin{matrix} \text{S} & \text{V} & \text{O}_1 & \text{O}_2 \end{matrix}$

⇒ He gave something to you.
 $\begin{matrix} \text{S} & \text{V} & \text{O}_2 & \text{O}_1 \end{matrix}$

(例) She taught me swimming. 「彼女は私に水泳を教えた」
 $\begin{matrix} \text{S} & \text{V} & \text{O}_1 & \text{O}_2 \end{matrix}$

⇒ She taught swimming to me.
 $\begin{matrix} \text{S} & \text{V} & \text{O}_2 & \text{O}_1 \end{matrix}$

(B) for型

build + O₁ + O₂ 「O₁にO₂を建てる」、cook + O₁ + O₂ 「O₁にO₂を料理する」

buy + O₁ + O₂ 「O₁にO₂を買う」、order + O₁ + O₂ 「O₁にO₂を注文する」

choose + O₁ + O₂ 「O₁にO₂を選ぶ」、find + O₁ + O₂ 「O₁にO₂を見つける」など

$\boxed{S + V + O_1 + O_2 \Rightarrow S + V + O_2 + for + O_1}$

(例) She bought me a big tree. 「彼女は私に大きな木を買ってくれた」
 $\begin{matrix} \text{S} & \text{V} & \text{O}_1 & \text{O}_2 \end{matrix}$

⇒ She bought a big tree for me.
 $\begin{matrix} \text{S} & \text{V} & \text{O}_2 & \text{O}_1 \end{matrix}$

⑤第V文型 S + V + O + C

目的語と補語をとることができる他動詞の場合、この文型となる

また、O=Cという関係が成り立つ

make + O + C 「OをCに作り上げる」、choose + O + C 「OをCに選ぶ」

call + O + C 「OをCと呼ぶ」、name + O + C 「OをCと名づける」

think + O + C 「OをCと思う」、believe + O + C 「OをCと信じる」

feel + O + C 「OをCと感じる」、find + O + C 「OをCとわかる」など

(例) I made my son a doctor. 「私は息子を医者にした」
 $\begin{matrix} \text{S} & \text{V} & \text{O} & \text{C} \end{matrix}$

Reiko calls him Tadao. 「令子は彼を忠夫と呼ぶ」
 $\begin{matrix} \text{S} & \text{V} & \text{O} & \text{C} \end{matrix}$

※ They found my son his book. 「彼らは私の息子に本を見つけてくれた」
 $\begin{matrix} \text{S} & \text{V} & \text{O}_1 & \text{O}_2 \end{matrix}$

※ They found my son kind. 「彼らは私の息子が優しいと気づいた」
 $\begin{matrix} \text{S} & \text{V} & \text{O} & \text{C} \end{matrix}$

同じfindを使っても文型が異なるため訳も異なることに注意。

(1) 疑問詞とは

what、whoなどのように疑問文の頭について、「何?」「誰が?」などをたずねるもの一般的に5W1Hとして知られている(ここではwhichとwhoseを加えて7W1Hとなる)

疑問詞	what	when	where	why	which	whose	who	how
訳	何	いつ	どこ	なぜ	どちら	誰の	誰	どのように

応答方法は、質問に対して説明するようにこたえる(わからないときには「I don't know.」)

5 I keep six honest serving-men(They taught me all I knew);
 W Their names are What and Why and When And How and Where and Who.
 1 『私には私の知りたいことを何でも教えてくれる正直なお手伝いさんが6人居るんだよ。
 H 彼らのなまえは「なに? (What)」さん、「なぜ? (Why)」さん、「いつ? (When)」さん、「どこ? (Where)」さん、「どんなふう? (How)」さん、それから「だれ? (Who)」さんと言うんだよ。』

(2) Whatの疑問文

①疑問詞 + 疑問文 形

What + 疑問文 ~ ?

(例) Does he know ~~the truth~~? 「彼は真実を知っていますか?」



↑の部分が「何ですか?」という文を作るには
 ここを省略して疑問詞を頭につける
 「何?」は「what」であるので下記のようなになる

What does he know? 「彼は何を知っていますか?」

②疑問詞 + A + 疑問文 形

What + A + 疑問文 ~ ?

What day	何曜日
What time	何時
What + 名詞	どんな～
What kind + 名詞	どんな種類の～/どんな感じの～

(例) What day is it today? 「今日は何曜日?」

What time is it now? 「今何時だい?」

What sport does she like? 「どんなスポーツが好きですか?」

What kind movie did you like? 「どんな感じの映画が好きでしたか?」

※何月何日かたずねるときは

What be動詞 the date ~ ?

(例) What's the date today? 「今日は何月何日ですか?」

「what is」の短縮形は「what's」。

その他「疑問詞+is」⇒「疑問詞's」と短縮可能

(3) Whenの疑問文

When + 疑問文 ~ ?

(例) Did she watch TV ~~last night~~? 「彼女は昨晚テレビを見ましたか？」



↑の部分が「いつですか？」という文を作るには
ここを省略して疑問詞を頭につける
「いつ？」は「when」であるので下記のようになる

When did she watch TV? 「彼女はいつテレビを見ましたか？」

※注意事項

(例) Did she watch TV ~~at six~~? 「彼女は6時にテレビを見ましたか？」



↑の部分が「何時ですか？」という文を作るには
ここを省略して when ではなく what time をつける

What time did she watch TV? 「彼女は何時にテレビを見ましたか？」

同様に what day、what + be動詞 + the date ~ ? の表現に気をつける

(4) Whereの疑問文

Where + 疑問文 ~ ?

(例) Is my hamburger ~~on the table~~? 「私のハンバーガーは机の上ですか？」



↑の部分が「どこですか？」という文を作るには
ここを省略して疑問詞を頭につける
「どこ？」は「where」であるので下記のようになる

Where is my hamburger? 「私のハンバーガーはどこですか？」

(5) Whoの疑問文

①疑問詞 + 疑問文 形

Who + 疑問文 ~ ?

(例) Is Mr.Guts ~~your friend~~? 「ミスターガッツはあなたの友達ですか？」



↑の部分が「誰ですか？」という文を作るには
「who」を下記のようにつける

Who is Mr.Guts? 「ミスターガッツは誰ですか？」

②疑問詞 + 肯定文 形

Who + 肯定文 ~ ?

(例) Do ~~you~~ like her? 「あなたは彼女が好きですか？」



↑のように主語の部分が「誰ですか？」という文を作るには
「who」を下記のように使う

Who likes her? 「誰が彼女が好きですか？」

(6) Whichの疑問文

①疑問詞 + 肯定文 形

Which + 肯定文 ~ ?

主語を聞く疑問文の場合、疑問詞の後ろは肯定文の並びとなる。

(例) Which looks more expensive? 「どちらが高く見えますか？」

⇒This blue one does. 「こちらの青い方です」

②疑問詞 + A + 肯定文 形

Which + A + 肯定文 ~ ?

「どちらの～」を主語をとして聞く疑問文の場合、疑問詞の後ろは肯定文の並びとなる。

(例) Which train goes to Ube Station? 「どちらの電車が宇部駅まで行きますか？」

⇒That yellow one does. 「あの黄色い方です」

③疑問詞 + 疑問文 形

Which + 疑問文 ~ ?

主語を以外を聞く疑問文の場合、疑問詞の後ろは疑問文の並びとなる。

(例) Which do you like? 「あなたはどちらが好きですか？」

⇒I like this. 「こちらです」

④疑問詞 + A + 疑問文 形

Which + A + 疑問文 ~ ?

主語を以外を聞く疑問文の場合、疑問詞の後ろは疑問文の並びとなる。

(例) Which cat did you want? 「あなたはどちらの猫が欲しかったですか？」

⇒I wanted that black one. 「あの黒いのが欲しかったです。」

(7) Whoseの疑問文

③疑問詞 + 疑問文 形

Whose + 疑問文 ~ ?

(例) Whose is that dog? 「あの犬は誰のですか？」

⇒It's mine. 「～のものですか？」と聞く場合にこの形となる

③疑問詞 + 疑問文 形

Whose + A + 疑問文 ~ ?

(例) Whose cap is this? 「これはだれの帽子ですか？」

⇒It's yours. 「～は誰のですか」と聞く場合にこの形となる。
※英語ではこちらの言い方がより自然な表現。

(8) Whyの疑問文

Why + 疑問文 ~ ?

(例) Why do you call it moai ? ⇒理由 : Because moai means “future”.
 「あなたはなぜそれをモアイと呼ぶのですか？」 ⇒目的 : To live in the future.

Why + don't you + 動詞の原形 ~ ?

※「Why + don't you + 動詞の原形 ~ ?」で「～しませんか？」という意味になる

(例) Why don't you use a computer ?

「コンピューターをいませんか？」

(9) Howの疑問文

How + 疑問文 ~ ?

(例) How do you feel it ? 「それをあなたはどのように感じますか？」

How + 形容詞 + 疑問文 ~ ?

How old	どのくらいの年	How old are you ? 「あなたは何歳ですか？」
How far	どのくらい遠い	How far is it from here to there ? 「ここからそこまでどのくらい離れてるの？」
How long	どのくらい長い	How long will you stay here ? 「どのくらいの間ここに滞在する予定ですか？」
How big	どのくらい大きい	How big is your car ? 「あなたの車はどのくらい大きいの？」
How tall	どのくらい背が高い	How tall is her sister ? 「彼女の姉はどのくらい背が高いの？」

How + 副詞 + 疑問文 ~ ?

How much	いくら	How much is it ? 「それはいくらですか？」
How many + As	どのくらいのA	How many cats were there ? 「どのくらいの猫がそこにいたのですか？」
How many times	何回	How many times did you study hard ? 「何回一生懸命勉強しましたか？」
How often	どのくらいの頻度	How often are there trains to Kyoto? 「京都行き電車は何本くらい出ていますか？」

その他の慣用表現

How about A ?	Aはどうですか？	How about you ? 「あなたはどうですか？」
How do you do?	こんにちわ/はじめまして	How do you do? 「こんにちわ」
How are you?	調子どう/体調はどう	How are you? 「ご機嫌いかがですか？」

(1) 命令文とは

「～なさい」「～しましょう」「～して下さい」のように命令を表す文のこと

(2) 命令文の形

「～なさい」という命令文

動詞の原型 ～ .

(例) Listen to music. 「音楽を聴きなさい」

※命令文はbe動詞からはじめることもできる (Be + 形容詞 / Be + 副詞)

(例) Be kind to everyone. 「みんなに親切になさい」

① 丁寧な命令文

丁寧な命令文は文頭または文尾に「please」をつける

Please + 動詞の原型 ～ . / 動詞の原型 ～ , please.

(例) Please sit down. / Sit down, please.

「どうぞお座り下さい」

② 勧誘命令文

「～しませんか」という勧誘を表す命令文の場合、文頭に「Let's」をつける

Let's + 動詞の原型 ～ .

(例) Let's get out of here. 「ここから出ましょう」

③ 否定命令文

「～してはいけません」という命令文

Don't + 動詞の原型 ～ .

(例) Don't be late for school. 「学校に遅刻するな」

※否定命令文を丁寧にすることもできる

(例) Don't be late for school, please. 「学校に遅刻しないで下さい」

(3) 命令文 + 接続詞の形

「～なさい。そうすれば・・・」という命令文

命令文 ～ + and + ….

(例) Don't listen to her and you will know the truth.

「彼女の言うことを聞くな。そうすれば真実がわかるだろう」

「～なさい。さもないと・・・」という命令文

命令文 ～ + or + ….

(例) Please don't eat his bread or I will eat yours.

「彼のパンを食べないで下さい。さもないと私が君のパンを食べちゃうぞ」

(1) 接続詞

文と文や単語と単語をつなぐ品詞のこと

①等位接続詞

語と語、句と句、文と文を対等な関係でつなげる接続詞

<p>and ①「～と…」 ②「～。そして…」</p>	<p>① (例) She is smart and beautiful. 「彼女はかしこく、美しい」 ② (例) You can tell me and I'll help you. 「言ってくださいね。そしたら手伝いますから」</p>
<p>or (≒though) 「～または…」</p>	<p>(例) Do you like tea or coffee? 「あなたは紅茶が好きですか？ それともコーヒーが好きですか？」</p>
<p>but 「～。しかし…」</p>	<p>(例) I am busy, but you are not busy. 「私は忙しい。でも、あなたは忙しくない。」</p>
<p>so 「～。それで…」</p>	<p>(例) It was cold, so I closed the window. 「寒かったので、私は窓をしめました。」</p>

※though「～だけれども」という接続詞

②従属接続詞

節（文の中で主語+述語を含むもの）を導く接続詞のこと

<p>because ~ 「～なので…」</p>	<p>(例) Ken didn't go to school because he was sick in bed. ⇒ Because Ken was sick in bed, he didn't go to school. 「ケン病気で寝込んでいたので、学校に行きませんでした」</p>
<p>when ~ 「～のとき…」 ※when節内にwillを使っちゃいけない</p>	<p>(例) Kenji was watching TV when Jun got up. ⇒ When Jun got up, Kenji was watching TV. 「ジュンが起きたとき、ケンジはテレビを見ていました」</p>
<p>if ~ 「もし～なら…」 ※if節内にwillを使っちゃいけない</p>	<p>(例) Let's go to the park if you have time. ⇒ If you have time, let's go to the park. 「もし君に時間があったら、公園に行きましょう」</p>
<p>while ~ 「～する間…」</p>	<p>(例) The phone rang while you were out. ⇒ While you were out, the phone rang. 「あなたの外出中に電話がなりました」</p>
<p>since ~ ①「～して以来…」 ②「～なので…」</p>	<p>① (例) I've known her since I was four. ⇒ Since I was four, I've known her. 「私は私が4歳の時から彼女を知っている」 ② (例) I'm for the plan since we're friends. ⇒ Since we're friends, I'm for the plan. 「私たちは友達なので、私はその計画に賛成です」</p>

他にも、after「～のあとで…」、before「～の前で…」などがある

※during:「～の間中ずっと」という前置詞

(1) 助動詞とは

動詞の意味を助ける品詞のこと

will、can、must、may、shall、should など

(2) 助動詞の形

未来形の will は助動詞であるため、肯定文、否定文、疑問文ともに do と同じ変化の仕方をする。

過去の形で用いる場合、助動詞が過去形に変化する。(三単現変化はない)

①肯定文

S + 助動詞 + 動詞の原形 ~

②否定文

S + 助動詞 + not + 動詞の原形 ~

③疑問文

助動詞 + S + 動詞の原形 ~ ?

応答方法は

Yes, S + 助動詞. / No, S + 助動詞 + not.

(3) 助動詞の種類

①willの意味

(A) [肯・否・疑] 未来・意志「~するだろう」「~するつもりだ」= be going to

(例) **I would be a teacher when I was a child.**

「私は子供のころ、先生になるつもりだった」

※willの過去形はwould

(B) [疑] 依頼「~していただけますか」※wouldの方が丁寧な言い方

Will / Would + you + 動詞の原形 ~ ?

(例) **Will you play the piano ?**

「ピアノを弾いていただけますか？」

※Would you like ~ ? 「~はどうですか？(~が欲しいですか?)」

(例) **Would you like orange juice ?** 「オレンジジュースはいかがですか？」

⇒ **I'd like to drink apple juice.** 「リンゴジュースがいただきたいわ」

※I'd = I would

②canの意味

(A) [肯・否・疑] 可能「～できる」= be able to

(例) **Kyoko could swim fast. ⇒ Kyoko was able to swim fast.**

「恭子は速く泳ぐことができた」

※canの過去形はcould

(B) [疑] 依頼「～してくれませんか」 ※couldの方が丁寧な言い方

Can / Could + you + 動詞の原形 ~ ?

(例) **Can you open the window ?**

「窓を開けてくれませんか？」

(C) [肯・否・疑] 許可「～してもよい」

Can + I / we + 動詞の原形 ~ ? 「～してもいいですか」

(例) **Can I use this pen ?**

「このペンを使ってもいいですか？」

③mustの意味

(A) [肯・疑] 義務「～しなければならない」= have to

(例) **She must stay home. = She has to stay home.**

「彼女は家に居なければならない」

※mustに過去形はないので had to を使わなければならない

(例) **I had to do a lot of homework yesterday.**

「昨日、私はたくさんの宿題をしなければならなかった」

※疑問文の応答で「～しなくてもよい」の意味で must not は使えない

(例) **Must I go to bed now ?** 「もう寝ないといけない？」

⇒ **Yes, you must. / No, you don't have to.**

「はい、寝なければなりません」 / 「いいえ、寝なくてもいいですよ」

(B) [否] 禁止「～してはいけない」

(例) **You mustn't watch TV.**

「あなたはテレビを見てはいけません」

※must not の短縮形は mustn't

(C) [肯] 断定推量「～に違いない」 ※後ろに状態を表す動詞や形容詞が続く場合、この訳となることが多い

(例) **You must be so tired.**

「あなたは疲れているに違いありません」

④mayの意味

(A) [肯・否・疑] 推量「～かもしれない」

(例) **He may be sick.**

「彼は病気かもしれない」

(B) [肯・否・疑] 許可「～してもよい」

May + I / we + 動詞の原形 ~ ? 「～してもいいですか」

(例) **May I call you in ten minutes ?**

「10分後に、あなたに電話してもよろしいですか？」

※mayの過去形での使い方は中学英語では出てこない

④shallの意味

(A) [疑] 提案・勧誘「私たちは～しましょうか」=Let's～ を丁寧にしたもの

Shall + we + 動詞の原形 ~ ?

(例) What shall we do ?

「何をしようか？」

(B) [疑] 提案・勧誘「私が～しましょうか」

Shall + I + 動詞の原形 ~ ?

(例) Shall I help you ?

「手伝いましょうか？」

※shallの肯定文や否定文での使い方は中学英語では出てこない
また過去形はshouldであるが、訳が異なるので下記を参照すること

⑤shouldの意味

[肯・否・疑] 軽い義務「～すべきだ」(文法としてはshallの過去形)

(例) You should visit her.

「あなたは彼女のところを訪れるべきだ」

※shouldは文法としてはshallの過去形であるため、「～すべきだった」という過去を表す表現は、中学英語では出てこない

(3) 助動詞の短縮形・過去形のまとめ

原形	notの短縮	代名詞の短縮	過去形	過去形notの短縮	過去形 代名詞の短縮
will	won't	代名詞 + 'll	would	wouldn't	代名詞 + 'd
can	can't	-	could	couldn't	-
must	mustn't	-	-	-	-
may	-	-	-	-	-
shall	-	-	should	shouldn't	-

(4) 助動詞の応答方法のまとめ

助動詞	疑問文の形	YESの応答	NOの応答
will	Will/would S ~ ?	Yes, S will/would.	No, S won't/wouldn't.
can	Can/Could S ~ ?	Yes, S can/could.	No, S can't/couldn't.
must	Must S ~ ?	Yes, S must.	No, S don't have to.
may	May S ~ ?	Yes, S may.	No, S may not.
shall	Shall I ~ ?	Yes, please.など	No, thank you.など
	Shall we ~ ?	Yes, let's./All right.など	No, let's not.など
	Should S ~ ?	Yes, S should.	No, S shouldn't.

(5) 助動詞の書き換えのまとめ

①willの書き換え (未来の意味の場合)

will ⇔ be going to + 動詞の原形 ~

②canの書き換え (可能の意味の場合)

can ⇔ be able to + 動詞の原形 ~

③mustの書き換え (義務の意味の場合)

must ⇔ have to + 動詞の原形 ~

have を一般動詞と考えて、変化する

(例) She doesn't have to wash her hands.

「彼女は自分の手を洗わなくてもよい」

④mustの書き換え (義務or禁止の意味の場合)

must ⇔ 命令文

(例) You must buy a ticket for her. ⇔ Buy a ticket for her.

「あなたは彼女のためにチケットを買わなければならない (彼女のためにチケットを買いなさい)」

must not ⇔ 否定命令文

(例) You mustn't drive so fast. ⇔ Don't drive so fast.

「あなたはそんなに速いスピードで運転してはいけない (そんなに速いスピードで運転するな)」

⑤Shall we ~ ? の書き換え

Shall + we + 動詞の原形 ~ ? ⇔ Let's + 動詞の原形 ~ .

(例) Shall we dance ? ⇔ Let's dance.

「私たちは踊りませんか? (踊ろうよ)」

⑥依頼の書き換え

Will / Would you ~ ? ⇔ Can / Could you ~ ?

⑦許可の書き換え

Can I ~ ? ⇔ May I ~ ?

⑧will + can

will be able to + 動詞の原形 ~

(例) Robleh will not be able to eat sushi.

「ロブレは寿司を食べることができないだろう」

⑨will + must

will have to + 動詞の原形 ~

(例) He will have to do it.

「彼は、それをしなければならないだろう」

(1) 比較級

「…より～」という程度を表す

比較級 ~ + than …

(例) **This pen is longer than that one.**

「このペンはあのペンよりも長い」

※than 以下を省略する場合もある

(例) **He walked more slowly.**

「彼女はよりゆっくり歩いた」

(例) **Robleh speaks French better than Mushtaq.**

「ロブレーはムスタクより上手にフランス語を話す」

【形容詞の比較級変化】

形容詞や副詞の語尾に「er」をつける

「e」で終わる語は「r」をつける ※例 large→larger

「子音字+y」で終わる語は「y」を「i」にして「er」をつける ※例 early→earlier

「短母音+子音字」で終わる語は子音字を重ねて「er」をつける ※例 big→bigger

比較的つづりの長い語には「more」をつける ※例 popular, important, slowly, quickly 等

不規則な変化をする語 ※good, well→better many, much→more

more than ~ ~以上

※比較級を強めるときには、much「ずっと / かなり」を比較級の前につける。

(例) **Kenji speaks English much better than Kenzo.**

「賢治は賢三より、ずっと上手に英語を話す」

(2) 最上級

「…で一番～」という程度の高さを表す

the + 最上級 ~ + in / of …

※in : ~の中で。範囲・場所など。

of : ~の中で。同類・仲間など。all + 可算名詞の場合はofを用いる。

※this summer など季節や時期の前には前置詞は必要ない。

※best の前に my などの所有格がある場合、the は省略される。

(例) **He is the tallest of the three.**

「彼は3人の中で最も背が高い」

(例) **She is the most famous singer in Japan.**

「彼女は日本で最も有名な歌手だ」

(例) **Do your best of all.**

「(全員の中で君が一番)最善をつくせ」

【形容詞の最上級変化】

形容詞や副詞の語尾に「est」をつける

「e」で終わる語は「st」をつける ※例 large→largest

「子音字+y」で終わる語は「y」を「i」にして「est」をつける ※例 early→earliest

「短母音+子音字」で終わる語は子音字を重ねて「est」をつける ※例 big→biggest

比較的つづりの長い語には「most」をつける ※例 popular, important, slowly, quickly 等

不規則な変化をする語 ※good, well→best many, much→most

(3) 原級

①「…と同じくらい～」

as + 原級 + as …

(例) I can get up as early as you.

「私はあなたと同じくらい早く起きられます」

②「…ほど～でない」

not ~ as + 原級 + as …

(例) She can't speak English as well as he.

「彼女は彼ほど英語を上手く話せない」

③「…の〇倍～」

〇times as + 原級 + as …

(例) I'm three times as old as they.

「私は彼らの3倍の年齢だ」

倍数表現は、〇に数詞を入れる。ただし、例外として以下はtimesが必要ない

half (半分)、twice (2倍)、one-third (3分の1)、two-third (3分の2)

④「できるだけ～」

as + 原級 + as possible [S can]

(例) I will run as fast as I can.

「できるだけ速く走るよ」

注意事項

2つ目の as の後が
代名詞のときには

主格

(4) 疑問詞で始まる比較級・最上級

①「AとBではどちらが～か」

Which [Who] ~ + 比較級, A or B?

(例) Which is more exciting, soccer or baseball?

「サッカーと野球ではどちらが興奮しますか」

②「…の中でどれ [だれ] が一番～か」

Which [Who / What] ~ + the 最上級 + in [of] …?

(例) Who is the oldest of the three?

「3人の中でだれがいちばん年上ですか」

(5) 書き換え

意味に応じて様々な書き換えがある。

①比較級 ⇔ 原級

(例) I'm younger than she. ⇔ She is not as young as I.

「私は彼女より若い」

「彼女は私ほど若くない」

②最上級 ⇔ 比較級

(例) He is the tallest in his class. ⇔ He is taller than any other boy.

「彼はクラスの中で一番背が高い」

「彼は他の誰よりも背が高い」

※単数

(1) 形容詞

①形容詞とは

名詞の性質や状態を説明するもの

②形容詞の位置

(i) 間接的に説明する

補語 (C) となり、間接的に主語を説明する

(例) **This book is interesting.**

「この本はおもしろい」

(ii) 直接修飾する

名詞の前について直接修飾する

(例) I want the **black boots**. 「私はその黒いブーツが欲しい」

※「-thing」の形の代名詞を修飾するとき名詞の後から修飾する

(例) I want **something cold**. 「私は何か冷たいものが欲しい」

③数量形容詞

数えられる名詞 (可算名詞) だけに使えるもの、数えられない名詞 (付可算名詞) だけに使えるもの、両方に使えるものがある

	多くの / たくさんの	いくつかの / いくらかの	少しの	ほとんど ~ない	あまり ~ない	まったく ~ない
数	many	a lot of	some <肯定文>	a few	few	not many
量	much	[lots of]	any <否定文・疑問文>	a little	little	not much
						no

(例) I want many water. (×)

I want much water. (○)

「私はたくさんの水が欲しい」

(2) 副詞

①副詞とは

おもに動詞、形容詞、他の副詞を修飾するもの

②注意すべき副詞の位置

early : 早く (時間・時期的に), fast : 速く (速度、動作), hard : 熱心に/激しく
well : 上手に, late : 遅く (時間・時期的に), slowly : 遅く (速度、動作)

動詞を修飾する副詞は、修飾する動詞の後に入れる

S + 動詞 + 副詞

(例) I **got up early**. 「私は早く起きた。」

always : いつも, usually : たいてい/普段, often : しばしば/よく, sometimes : 時々/たまに
never : 決して～ない, almost : ほとんど

頻度を表す副詞は、(i)一般動詞の文なら動詞の前、(ii)be動詞の文なら動詞の後ろに入れる

(i) S + 副詞 + 一般動詞

(例) That sometimes happens. 「そういうこともたまにはあります。」

(ii) S + be動詞 + 副詞

(例) He wasn't always such a bad person. 「彼も昔はそんなに悪いやつじゃなかったんだが。」

too : ～も(…である。), not ~ either : ～も(…でない。)

肯定文・疑問文では「too」、否定文では「not ~ either」を使う

S + 動詞 + ~,too.

(例) I want to do that ,too. 「私もやりたい。」

(例) I'm not a teacher, either. 「私も教師ではありません。」

much : とても (主に比較級で使用される), very : とても (他の形容詞を修飾するパターン)

形容詞や他の副詞を修飾する。修飾する形容詞や副詞の前に入れる

much + 比較級

(例) Telephone is much cheaper than cell phone. 「家の電話は携帯電話より、ずっと安いです。」

very + 形容詞

(例) I walked very carefully. 「私はとても気をつけて歩いた。」

enough : 十分に～ (形容詞を修飾するパターン)

形容詞を修飾する。修飾する形容詞の後に入れる

形容詞 + enough

(例) This house is big enough for us. 「この家は私たちにとって、十分に大きい。」

very much : とても (非常に), so much : そんなにも/いっそう, very well : とてもよく

修飾する文の後におく

(例) Jimi can play the guitar very well. 「ジミはとても上手にギターを弾けます。」

today : 今日, yesterday : 昨日, tomorrow : 明日, then : その時, at that time : その時

時を表す副詞について：時をあらわす副詞は基本的に文末に置く

(例) I go to the church today. 「私は今日教会へ行きます。」

受動態

①受動態とは

動作をされる人や物が主語になる文。主語が「～される」と受身の文になる

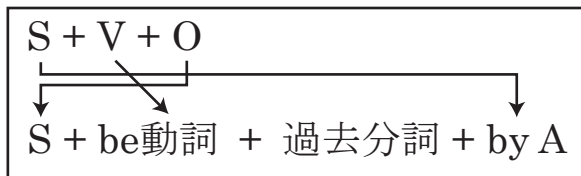
②受動態の用法

be動詞 + 過去分詞 [+ by + ...] …によって～される

現在か過去かは be 動詞で表す。

「～されている」 → 「am / is / are + 過去分詞」

「～された」 → 「was / were + 過去分詞」



(例) He broke this window.

「彼はこの窓を割った」

(例) This window was broken by him.

「この窓は彼によって割られた」

③過去分詞の作り方（原型 - 過去形 - 過去分詞）

(1) A B B型 (例) make made made、 build built built

(2) A B C型 (例) speak spoke spoken、 write wrote written

(3) A A A型 (例) cut cut cut、 read read read

④受動態の否定文

be動詞 + not + 過去分詞 [+ by + ...]

(例) This book isn't written in English.

「この本は英語で書かれていない」

⑤受動態の疑問文

be動詞 + S + 過去分詞 [+ by + ...]?

※答えるときも be 動詞を使う

(例) Was this TV made in Japan? Yes, it was.

「このテレビは日本で作られましたか？」 「はい、そうです」

⑥by 以外を用いる受動態

「～に興味がある」 → 「be interested in ～」

「～に興奮する」 → 「be excited about ～」

「～に喜んでいいる」 → 「be pleased with ～」

「～を心配している」 → 「be worried about ～」

「～でいっぱいである」 → 「be filled with ～」

「～に知られている」 → 「be known to ～」

「～で覆われている」 → 「be covered with ～」

「～として知られている」 → 「be known as ～」

「～に満足している」 → 「be satisfied with ～」

「～に驚いている」 → 「be surprised at ～」

「～に感動する」 → 「be impressed with ～」

「生まれる」 → 「be born」

「～でできている（材料わかるとき）」 → 「be made of ～」

「～でできている（材料わからないとき）」 → 「be made from ～」

(例) The road was covered with snow.

「道路は雪で覆われていた」

(例) He was born in 1992.

「彼は1992年に生まれた」

(1) 現在完了

現在完了とは

完了・結果、経験、継続の意義があり、副詞や前後の内容で使い分ける

※「have」は主語が三単現の場合は「has」になる

(2) 完了/結果の現在完了

「～したところだ」、「～してしまった」のように動作が現在までに完了していることを表す

※完了の場合、以下の副詞が使われる

過去分詞の前：just 「ちょうど」、already 「もう・すでに」

文尾：yet 「まだ～ない」

(A) 肯定文

have + just / already + 過去分詞

(例) I have just cooked breakfast.

「私はちょうど朝食を作り終わったところです」

(B) 否定文

have + not + 過去分詞 + O + yet

(例) I haven't written a letter yet.

「私はまだ手紙を書いてません」

(C) 疑問文

Have + S + 過去分詞 + O + yet? Yes, I have. / No, I haven't.

※No, not yet. でも良い

(例) Have you cleaned the room yet? No, not yet.

「もう部屋の掃除をしましたか？」

「いいえ、まだです」

(3) 経験の現在完了

「～したことがある」、「～したことがない」のように現在までの経験を表す

※経験の場合、以下の副詞が使われる

過去分詞の前：ever 「今までに」、never 「一度も～ない」

文尾：once 「一度」、twice 「二度」、数 + times 「～回」、many times 「何回も」、several times 「何回か」、before 「以前」

(A) 肯定文

have + 過去分詞 ※ever は必要に応じて使用する (過去分詞の前)

(例) I have been to America once.

「私はアメリカに一度行ったことがあります」

(B) 否定文

have + never + 過去分詞

(例) I have never been abroad.

「私は一度も外国に行ったことはありません」

(C) 疑問文

Have + S + ever + 過去分詞 + O ? Yes, I have. / No, I haven't.

(例) Have you ever visited Canada? Yes, I have.

「あなたは今までにカナダを訪れたことがありますか?」「はい、あります」

How often [/How many times] have + S + 過去分詞～?

頻度を聞く場合 : How often (何回～したことがある?)
 回数を聞く場合 : How many times ※経験の現在完了の場合、どちらも同じ訳となる。

(例) How many times have you watched the movie?

How often have you watched the movie?

「あなたは何回その映画を見たことがありますか?」

※How often do you watch a movie? Once a week.

「あなたはどのくらいの頻度で映画を見ますか?」 「週に1回です」

(4) 継続を表す現在完了

「ずっと～している」のように動作や状態が継続していることを表す

※継続の場合、以下の副詞が使われる

for 「～の間」、since 「～から」

(A) 肯定文

have + 過去分詞 ~ for[/since] ...

(例) I have lived in Japan for five years.

「私は日本に五年間住んでいます」

(B) 否定文

have + not + 過去分詞 ~ for[/since] ...

(例) He hasn't studied English since last week.

「彼は先週からずっと英語を勉強していません」

(C) 疑問文

Have + S + 過去分詞 ~ for[/since] ... ? Yes, I have. / No, I haven't.

(例) Have you played the piano for ten years? Yes, I have.

「あなたはピアノを弾いて10年になりますか?」 「はい、そうです」

How long have + S + 過去分詞～? (どのくらいの間～)

(例) How long have you played the piano? For ten years.

「あなたはピアノを弾いてどれくらいになりますか?」 「10年になります」

(D) 注意すべき形

since は、後に文がくることもある。

現在完了の文 + since S + V ~

(例) I have played soccer since I was a child.

「私は子供のころからずっとサッカーをしている」

※省略形

I have ⇒ I' ve

You have ⇒ You' ve

We have ⇒ We' ve

(1) 動名詞

動名詞とは

動詞の「～ing」形のうち「～すること」の意味で、名詞と同じ働きをする

動詞～ing

(2) 動名詞の用法

名詞と同じように主語、動詞の目的語、前置詞の目的語などになる

①主語となる場合 ※単数として扱う

(例) **Singing Christmas songs is popular.**

「クリスマスソングを歌うことは人気がある」

②目的語となる場合

(例) **He started reading the book.**

「彼はその本を読み始めた」

※後に動名詞しかとれない動詞（名詞はOK。不定詞は不可）

「like ~ing」→「～するのが好きだ」

「enjoy ~ing」→「～を楽しむ」

「finish ~ing」→「～を終える」

「stop ~ing」→「～をやめる」

(例) **He stops walking.** (×) **He stops to walk.**

「彼は歩くのをやめる」

「彼は歩くために立ち止まった」

③前置詞の目的語となる場合

(例) **He is good at playing the guitar.**

「彼はギターを弾くのが上手です」

※前置詞とセットになった形

「without ~ing」→「～しないで」

「by ~ing」→「～することによって」

「be good at ~ing」→「～するのが上手だ」

「how/[what] about ~ing」→「～するのはどうですか」

「thank for ~ing」→「～してくれてありがとう」

「look forward to ~ing」→「～を楽しみにする」

(例) **She has gone without saying a word.**

「彼女は一言も言わずに去ってしまった」

(例) **Thank you for coming.**

「来てくれてありがとう」

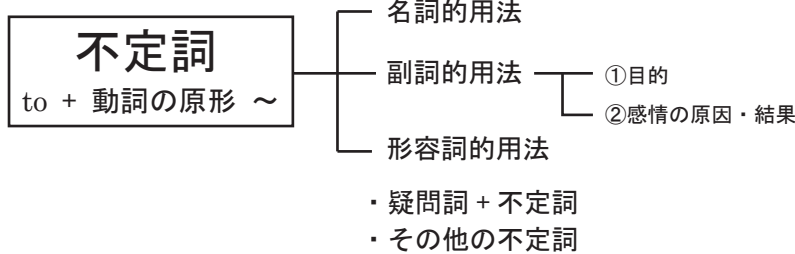
(例) **I'm looking forward to seeing you.**

「あなたに会うのを楽しみにしています」

(1) 不定詞

不定詞とは

「to+ 動詞の原形」の形で、名詞的用法・副詞的用法・形容詞的用法・特殊な用法があり、それぞれで意味も使い方も異なる



(2) 不定詞の名詞的用法

「～すること」の意味。不定詞は名詞として主語や目的語になる

(例) **To read a book is important.**

「本を読むことは重要だ」

※重要イディオム

「want to ~」 → 「～したい」 ※want を丁寧にすると would like

「like to ~」 → 「～するのが好きだ」

「begin to ~」 → 「～し始める」

「start to ~」 → 「～し始める」

「try to ~」 → 「～しようとする」

「decide to ~」 → 「～することに決める」

「want to be ~」 → 「～になりたい」

「hope to ~」 → 「～することを望む」

(例) **I want to watch TV.**

「私はテレビを観たい」

(3) 不定詞の副詞的用法

①目的

「～するために」の意味。不定詞は副詞となる。

(例) **He goes to the park to play tennis.**

「彼はテニスをするために公園に行きます」

※疑問文の応答にも使われる

(例) **Why did he go to the park? To play tennis.**

「なぜ彼は公園に行ったのですか？」

「テニスをするためです」

②感情の原因・結果

「～してその結果…になる」 / 「～したために…になる」の意味となる

(例) **I was happy to hear the news.**

「私はその知らせを聞いて幸せになった」

※重要イディオム

「be happy to ~」 → 「～して幸せだ」

「be sad to ~」 → 「～して悲しい」

「be sorry to ~」 → 「～して残念に思う」

「be glad to ~」 → 「～して嬉しい」

(4) 不定詞の形容詞的用法

「～するための、～しなければならない」の意味。不定詞は形容詞として名詞を後から修飾する

(例) I have a hard work to do. 「私にはしなければならない重労働がある」
 ↑ 修飾

※名詞が -thing の場合

「-thing+ 形容詞 + 不定詞」の語順になることに注意

(例) I want something cold to drink.
 「私は何か冷たい飲み物が欲しい」

(5) 疑問詞+不定詞

疑問詞と should の意味が付加され名詞になる

疑問詞 + to + 動詞の原形 ~

(例) I don't know how to play the guitar.
 「私はギターの弾き方を知りません」

how to ~	どのように~すべきか
what to ~	何を~すべきか
when to ~	いつ~すべきか
where to ~	どこで~すべきか
which to ~	どちらを~すべきか

(6) その他の不定詞

ask + 人 + to ~ 人に~するように頼む

(例) I asked her to help me.
 「私は彼女に手伝ってくれるように頼みました」

※重要イディオム

「want ... to ~」 → 「...に~してほしい」

「show ... to ~」 → 「...に~を見せる」

「tell ... to ~」 → 「...に~するように言う」

It ... [+ for -] + to ~ (-にとって) ~することは...だ

(例) It is important for us to study English.
 「私たちにとって英語を勉強することは大切です」

too ... [+ for -] + to ~ (-にとって) あまりに...なので~できない

⇒ so ... that S can't ~

※注意点

(i) 日本語では否定文になるが、英文は否定ではないことに注意

(ii) 時制や主語の違いに注意

(例) This fly was too fast for me to catch.

⇒ This fly was so fast that I couldn't catch.
 「このハエは速すぎて、私は捕まえることができなかった」

enough to ~ ~する程十分な...

⇒ so ... that S can ~

時制の違いに注意

(例) She was old enough to know it.

⇒ She was so old that she could know it.
 「彼女はそのことを知るには十分な年齢だった」

(1) 分詞

分詞とは

現在分詞、過去分詞が名詞を修飾するもの

(2) 現在分詞

「～している・・・」という意味

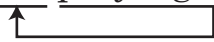
①分詞1語で名詞を修飾する場合 ⇒ 名詞の前

(例) The sleeping girl is my sister. 「その眠っている少女は私の妹です」



②分詞が他の語句を伴って名詞を修飾する場合 ⇒ 名詞の後

(例) The girl playing the piano is my sister.



「ピアノを演奏しているその少女は私の妹です」

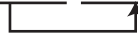
(3) 過去分詞

「～される・・・」 / 「～された・・・」という意味

分詞の位置は現在分詞と同じ考え方

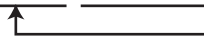
①分詞が単独で名詞を修飾する場合 ⇒ 名詞の前

(例) This is the broken watch. 「これは壊れた時計です」



②分詞が他の語句を伴って名詞を修飾する場合 ⇒ 名詞の後

(例) This is the watch broken by him. 「これは彼によって壊された時計です」



(1) 間接疑問文

間接疑問文とは

疑問詞で始まる疑問文が、他の文の一部（動詞の目的語）になること

(2) be動詞を使った間接疑問文

疑問詞以下は肯定文の語順になる

疑問詞 + 主語 + be動詞 ~

(例) Do you know what this is?

「あなたはこれが何か知っていますか？」

※疑問文以外にも使える

(例) I don't know what this is.

「私はこれが何か知らない」

(3) 一般動詞・助動詞を使った間接疑問文

疑問詞以下は同じく肯定文の語順になる

疑問詞 + 主語 [+ 助動詞]+ 動詞 ~

(例) Do you know where he goes?

「あなたは彼がどこに行くか知っていますか？」

(例) I don't know what you can get.

「私はあなたが何を得ることが出来るかを知らない」

※文全体が肯定文と否定文のときは最後の符号に注意する

(1) 関係代名詞

関係代名詞：2つの文をつなぐときに使うもの
 先行詞：関係代名詞詞節が修飾する名詞のこと
 関係代名詞と先行詞の組み合わせは、下図のようになる

先行詞	主格の関係代名詞	目的格の関係代名詞
人	who/that	that
物・動物	which/that	which/that

(2) 主格の関係代名詞

(例) I have a **sister**. + **She** has visited London before.
 「私には姉が1人います」 「彼女は以前ロンドンを訪れたことがあります」

先行詞 関係代名詞
 ⇒ I have a **sister** **who** has visited London before.
 「私には以前ロンドンを訪れたことがある姉が1人います」

【作り方】

- ①後の文で先行詞にあたるものを削除する（上の例文では she）
- ②先行詞が人の場合は who / that、物 / 動物の場合は which / that を使う

(3) 目的格の関係代名詞

(例) This is a **book**. + She wrote **it** yesterday.
 「これは本です」 「彼女はそれを昨日書きました」

先行詞 関係代名詞
 ⇒ This is a **book** **that** she wrote yesterday.
 「これは彼女が昨日書いた本です」

【作り方】

- ①後の文で先行詞にあたるものを削除する（上の例文では it）
- ②先行詞が人の場合は that、物 / 動物の場合は which / that を使う

<目的格の関係代名詞の省略>

目的格の場合省略されることが多い
 省略されても意味は変わらない
 省略されているかどうかは、名詞・代名詞のあとに「主語 + 動詞」が続いているかで判断する

(例) This is the book I like the best.
 「これは私の一番好きな本です」

<that を使うことを好む場合>

- 以下の場合、which ではなく that を使う
- ①先行詞に形容詞の最上級がつく場合
 - ②先行詞に、the only、the same、the very、the first、the last、all、any、every などがつく場合
 - ③先行詞が all、everything、anything などの代名詞の場合
 - ④that よりも前に who、which などの疑問詞がある場合

(1) 前置詞

前置詞とは

名詞や代名詞の前にきて句を作り、名詞を修飾（形容詞句）したり、動詞を修飾（副詞句）したりする。時を表す前置詞、場所を表す前置詞、その他の前置詞に大別される。

(2) 時を表す前置詞

①「～に」

at . . . 時刻
on . . . 日・曜日
in . . . 上記以外

in (年・月・四季)

on (日・曜日)

at (時刻)

(例) I get up at six every morning.

「私は毎朝6時に起きます」

(例) I played tennis on Sunday.

「私は日曜日にテニスをしました」

(例) I studied English in the morning in the summer.

「私は夏には午前中に英語を勉強しました」

②「～まで」

untill / till . . . 継続 (～までずっと)
by . . . 期限 (～までには)

(例) You must study till nine.

「あなたは9時まで勉強しなければいけない」

(例) You must finish your homework by nine.

「あなたは9時までに宿題を終わらせなければいけない」

③「～の間」

for . . . 時間の長さ
during . . . 特定の期間 (～の間中ずっと)

(例) I'll visit Canada for three days.

「私は3日間カナダを訪れるつもりだ」

(例) I'll visit Canada during the summer vacation.

「私は夏休みの間カナダを訪れるつもりだ」

④「～から」

from . . . 時間の起点
since . . . 期間の起点 (現在完了形)

(例) This shop is opened from 8 o'clock.

「この店は8時に開きます」

(例) He has been busy since yesterday.

「彼は昨日からずっと忙しい」

⑤「～の前後」

before . . . ～の前
after . . . ～の後

(例) I did my homework before breakfast.

「私は朝食の前に宿題をしました」

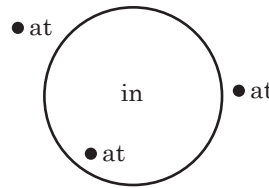
(例) I did my homework after lunch.

「私は昼食の後に宿題をしました」

(3) 場所を表す前置詞

①「～で」

at . . . 狭い場所
in . . . 広い場所 (～の中で)

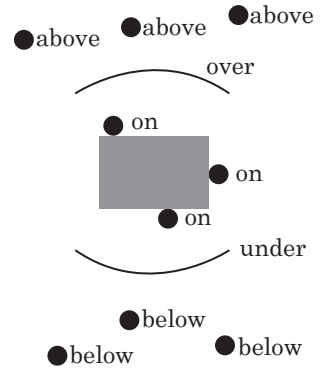


(例) I stayed at a hotel in Kyoto.

「私は京都のホテルに滞在しました」

②「～の上下」

on . . . ～の上に、(接触したものの上)
over . . . ～の真上に / 覆うように上に
under . . . ～の真下に / 覆うように下に
above . . . ～の上のほうに (接触しない)
below . . . ～の下のほうに (接触しない)



(例) There is a picture on the wall.

「壁に絵がかかっています」

(例) The moon was over the tree.

「月はその木の真上にありました」

(例) The dog was sleeping under the table.

「その犬はそのテーブルの下で寝ていました」

(例) The plane flew above the clouds.

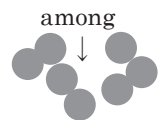
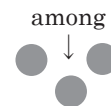
「飛行機は雲よりもずっと上を飛びました」

(例) A river runs below our house.

「川は私たちの家の下を流れています」

③「～の間」

between . . . 2つの人 (/ もの) の間
among . . . 3つ以上の人 (/ もの) の間



(例) Yamaguchi is between Hiroshima and Fukuoka.

「山口は広島と福岡の間にあります」

(例) Soccer is popular among young people.

「サッカーは若い人たちの間で人気があります」

④「～のまわり」

by . . . ～のそばに (目の前くらいの距離)
near . . . ～の近くに (目の前ほどではないが近く)
across from . . . ～の向かい側に
next to . . . ～のとなりに
in front of . . . ～の前に (=before ※in front ofの方がよく使われる)
behind . . . ～の後ろに

(例) He is standing by me.

「彼は私のそばに立っています」

(例) He lives near my house.

「彼は私の家の近くに住んでいます」

(例) She was standing in front of my house.

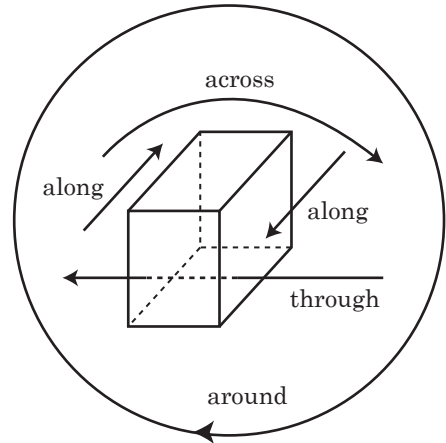
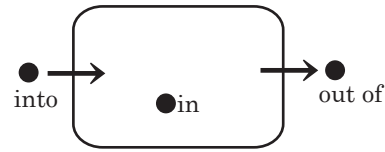
「彼女は私の家の前に立っていました」

(例) She was standing behind her mother.

「彼女は彼女の母の後ろに立っていました」

⑤動きを伴う

into	・・・～の中に
out of	・・・～から外に
to	・・・～へ
for	・・・～へ向かって
across	・・・～を横切って
along	・・・～に沿って
through	・・・～を通り抜けて
around	・・・～のまわりを
from	・・・～から



- (例) **She went into the room.**
「彼女はその部屋の中に入っていました」
- (例) **I pulled a pen out of my bag.**
「私はカバンからペンを取り出しました」
- (例) **I went to the park.**
「私はその公園に行きました」
- (例) **He left for Tokyo.**
「彼は東京に向かって出発しました」
- (例) **I walked across the street.**
「私はその道路を横断しました」
- (例) **We walked along the river.**
「私たちはその川に沿って歩きました」
- (例) **He walked through the woods.**
「彼は森を通り抜けて歩きました」
- (例) **The earth moves around the sun.**
「地球は太陽の周りを動いています」
- (例) **I went from London to Paris.**
「私はロンドンからパリへ行きました」

(4) その他の前置詞

①「～で」

with	・・・(道具) で
by	・・・(交通手段) で
in	・・・(言語) で
of	・・・(材料) で
from	・・・(原料) で

- (例) **She cut a cake with a knife.**
「彼女はナイフでケーキを切りました」
- (例) **I go to school by bus.**
「私はバスで学校に行きます」
- (例) **She wrote a letter in English.**
「彼女は英語で手紙を書きました」
- (例) **The doll is made of paper.**
「その人形は紙で作られます」
- (例) **Wine is made from grapes.**
「ワインはブドウで作られます」

②「～と一緒に」

with	・・・～とっしょに、～を持った
without	・・・～なしで

(例) I came here with him.

「私は彼と一緒にここに来ました」

(例) We can't live without water.

「私たちは水なしでは生きられない」

③その他

of	・・・～の
about	・・・～について
for	・・・～のために
like	・・・～のように
in	・・・～を着て

(例) We talked about the history of Japan.

「私たちは日本の歴史について話しました」

(例) The party was held for me.

「私のためにパーティが開かれました」

(例) I can't do it like him.

「彼のようにはできません」

(例) The girl in red dress is my sister.

「赤いドレスを着たあの女の子は私の妹です」

a member of	・・・～の一員
人+be動詞+for	・・・～について賛成である
from A to B	・・・AからBまで (時間・場所)

(例) I'm a member of the tennis team.

「私はそのテニスチームの一員です」

(例) I'm for the plan.

「私はその計画に賛成です」

(例) This shop close from 8 to 10 o'clock.

「このお店は8時から10時まで閉まります」

④前置詞が必要ない注意すべきもの

visit	・・・～を訪れる
-------	----------

goやstayのように前置詞が必要ないので注意する。

(例) I visited in Japan. (×)

I visited Japan. (○)

「私は日本を訪れた」

here / there	・・・ここ / そこ
--------------	------------

goやstayのように前置詞が必要な動詞でも、前置詞は使わない。

(例) I went to there. (×)

I went there. (○)

「私はそこに行った」

高校入試

特別対策 エージェント AGENT式 解説

中学生 - 英文法解説

本書の内容を無断で複写（コピー）・複製・転載をすることは、著作者及び発行元の権利侵害となり著作権法違反となりますので、ご希望の方は事前に小社宛に承諾を求めてください。

誰であろうとも、商用目的以外であれば、複写、転載を認めます。（無料で、連絡の必要もありません）

編集 株式会社AGENT Group
発行者 山本隆幸
印刷所 株式会社AGENT Group
発行所 株式会社AGENT Group

山口県美祢市伊佐町伊佐 3942-9
電話 0837-54-1260

●落丁・乱丁はおとりかえします

デザイン 竹岡賢治、杉山淳子